

科目	単位	時間	履修学年	講師名
基礎看護技術VI (フィジカルアセスメント)	1	30	1	
ねらい	観察のひとつとしてのフィジカルアセスメントの方法と根拠を理解し、看護につなげられるための技術を学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	全体の概観 ・フィジカルアセスメントに必要な技術（視診・触診・聴診・打診） ・全身状態・全体印象の把握			講義
2～3回目	系統的フィジカルアセスメント（呼吸器系：呼吸音の聴取）			講義・演習
4回目	系統的フィジカルアセスメント（循環器系：心音の聴取・心電図） 系統的フィジカルアセスメント（消化器系：腹部聴診、触診）			講義
5回目	系統的フィジカルアセスメント実践（循環器系：末梢血管のアセスメント） 系統的フィジカルアセスメント実践（消化器系：腹部聴診、触診）			演習
6～7回目	脳神経・筋骨格のフィジカルアセスメントの実践 （MMT、対光反射、瞳孔計など） 頭頸部と感覚器、外皮系のフィジカルアセスメントの実践			講義・演習
8～9回目	高齢者のフィジカルアセスメントの実施			講義・演習
10～11回目	小児のフィジカルアセスメントの実施			講義・演習
12～13回目	母性分野のフィジカルアセスメントの実施			講義・演習
14回目	症状のアセスメント： ・症状のメカニズムの理解（頭痛、腹痛、胸痛、嘔吐、下痢、下血など） ・症状から考えられる原因や緊急度の判断 ・問診及び観察方法 アセスメントに生かす問診の方法			講義
14.5回目	症状のアセスメント：問診の実際			演習
15回目 (45分)	終講試験			試験
教科書	① 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学② 基礎看護技術 I (医学書院) ② 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 100点			
備考	技術は練習だけすれば身に付くものではありません。何故そうするのか根拠を学び、正しい知識と技術と態度の習得をしていけるように一緒に学習していきましょう。			